

2026年

2026年10月5日

北海道地方 9月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 低気圧の影響を受けにくく、かなりの少雨と多照 —

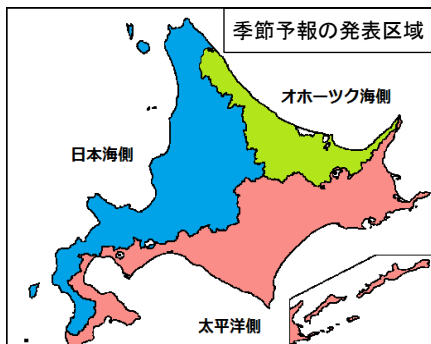
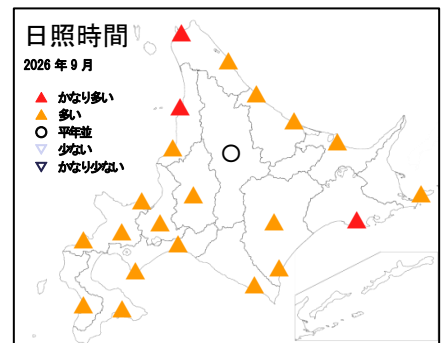
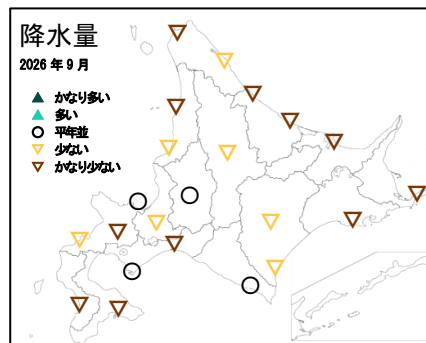
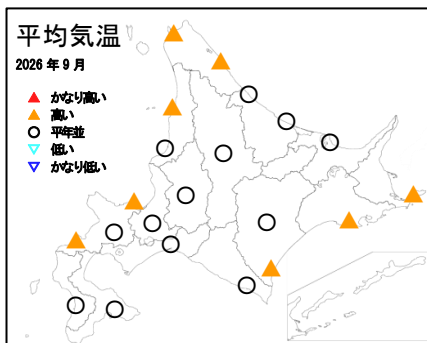
9月は、低気圧や前線の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすかった。このため、北海道地方の降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。特にオホーツク海側の月降水量の平年比は、1946年の統計開始以降、小さい方から第2位の記録となった。また、中旬以降に暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温は高かった。

上旬：低気圧や前線の影響を受けやすかったため、日本海側とオホーツク海側の日照時間は少なかった。冷たい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温は低かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北海道地方の降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。特に旬降水量の平年比は1946年の統計開始以降、オホーツク海側では小さい方から第2位、北海道地方と日本海側では第3位の記録となった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温は高かった。

下旬：低気圧や前線の影響を受けにくかったため、北海道地方の降水量は少なかった。また、日照時間は太平洋側で多かった。暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温は高かった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.5	+	52	--	114	+
日本海側	+0.4	0	51	-	113	+
オホーツク海側	+0.4	0	35	--	115	+
太平洋側	+0.6	+	64	-	116	+

旬の統計値(地域平均)

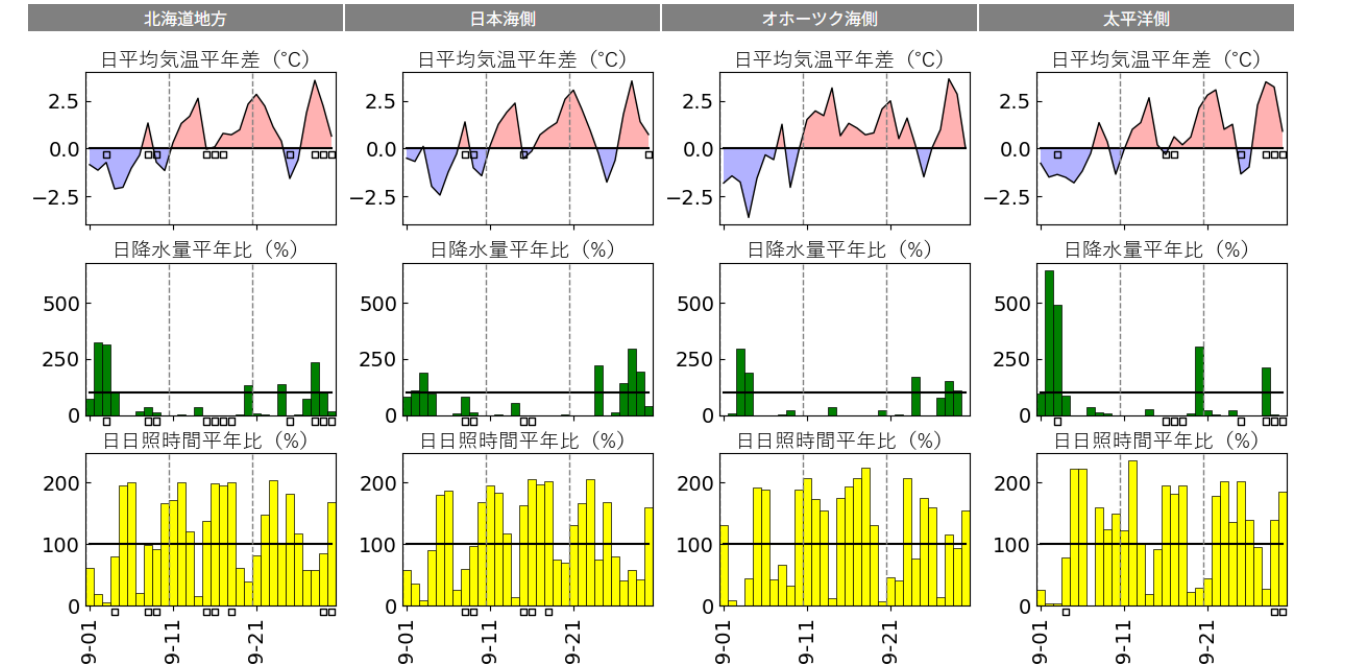
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.1	-	83	0	93	-
日本海側	-1.0	-	53	-	88	-
オホーツク海側	-1.3	-	50	0	89	-
太平洋側	-1.0	-	136	+	100	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.0	+	15	--	134	++
日本海側	+1.0	+	6	--	142	++
オホーツク海側	+1.5	+	5	--	152	++
太平洋側	+0.8	0	31	--	115	+

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.4	+	64	-	117	+
日本海側	+1.2	+	96	0	110	0
オホーツク海側	+1.1	+	55	-	106	0
太平洋側	+1.8	++	28	--	131	+

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	19.1	+0.5	0	82.5	58	－	170.8)	107	＋
稚内	18.1)	+0.9	＋	31.5)	23	－－	222.2)	129	＋＋
北見枝幸	16.9	+0.4	＋	71.0	53	－	193.0	125	＋
旭川	16.7)	+0.3	0	79.5	58	－	143.4)	99	0
留萌	17.4	+0.2	0	76.0	52	－	183.0	109	＋
羽幌	18.0)	+0.6	＋	48.0	33	－－	202.0	117	＋＋
岩見沢	17.8	+0.4	0	110.0	77	0	184.3	114	＋
倶知安	16.4	0.0	0	60.0	45	－－	162.6	109	＋
小樽	18.5	+0.4	＋	86.0	65	0	171.8	108	＋
寿都	18.6	+0.5	＋	73.0	49	－	176.6	115	＋
網走	17.2	+0.4	0	45.0	39	－－	181.4	111	＋
紋別	17.0	+0.4	0	34.5	27	－－	170.4	108	＋
雄武	16.4	+0.4	0	29.0	21	－－	183.8	115	＋
釧路	17.2	+0.7	＋	69.5	45	－－	181.3	126	＋＋
根室	17.1	+0.9	＋	59.5	37	－－	167.9	116	＋
帯広	17.2	+0.3	0	97.5	70	－	164.4	119	＋
広尾	17.3	+0.7	＋	192.5	73	－	154.7	115	＋
室蘭	19.0]			163.0)	104	0	189.9)	114	＋
苫小牧	18.2	+0.4	0	79.0	45	－－	180.8	118	＋
浦河	18.0	+0.3	0	138.5	96	0	173.8	106	＋
函館	19.4	+0.6	0	58.5	39	－－	182.5	113	＋
江差	19.9	+0.4	0	60.5	45	－－	195.2	120	＋

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「）」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
9月	月降水量(少ない)	第1位 第3位	雄武	29.0 mm	21 %	34.0 mm (2018)	1942
			羽幌	48.0 mm	33 %	45.0 mm (2002)	1921
			江差	60.5 mm	45 %	37.0 mm (2002)	1941
			倶知安	60.0 mm	45 %	53.6 mm (1956)	1944
			紋別	34.5 mm	27 %	19.5 mm (2018)	1956

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025